北九州市

個人でVC立ち上げ

監査法人出身の広瀬さん

監査法人やベンチャー
キャピタル(VC)でベ

ンチャー企業を支援してきた北九州市八幡西区の公認会計士、広瀬隆明さん(54)が三日、「北九州ベンチャーキャピタル」(資本金千万円)を設立した。企業や金融機関ではなく、個人がVCを立ち上げるのは九州では珍しい。投資資金は一億円を目標にしている。

広瀬さんは大手VCのジャフコや新日本監査法人などで、上場準備会社のコンサルティングにかかわってきた。八月に同法人を退社。「資金があれば早く成長できるのにな」と思える会社は多い。有望な会社と投資家のバ

イブ役になりたい」とV
Cの設立を決意した。

九州経済調査協会が九月にまとめたVCに関する調査によると、九州のVCは大きく①地元企業系②地銀系③大手VCの支社や支店に分けられる。九州ではファンド出資者を企業や個人よりも公的機関に頼る傾向が強いため、リスク許容度が低く、多くのファンドが低い運用成績という。広瀬さんは「都銀系のVCなどと組んで資金の少なさをカバーし、九州・山口の企業を中心に投資していきたい」としている。